計画における分野別取組		基本目標
数値目標項目		健康寿命の延伸
目標値	現状値(基準日)	男: 78.50 歳 女: 82.53 歳
	目標値(最終年)	男:79.97歳 女:83.60歳
	設定根拠	大阪府下(市町村)10位以内
	進捗状況	男:78.45 歳 女:83.34 歳(令和元年6月1日
		現在)
これまで	の取組み	・健康づくりプログラムを全戸配布
		• 各種健康教室の開催
		・ワガヤネヤガワ健康フェスタの開催
^ To = t=	otr o TD 40.3	
令机元年 	度の取組み	健康づくりプログラムを刷新
		くすりと健康展とワガヤネヤガワ健康フェスター
		の同時開催
		・健康教室の周知ポスターの刷新及び掲示
=== /==		・市民一人ひとりの健康意識の高まりにより健康
評価		
		寿命の延伸に繋がっている。

計画における分野別取組		2 社会環境の改善に関する取組
数値目標項目		ワガヤネヤガワ健康ポイント事業の応募者数
目標値	現状値(基準日)	685 人(平成 28 年度)
	目標値(最終年)	3,000 人
	設定根拠	事業開始時に設定した目標であることから
	進捗状況	2,031 人(平成31年3月31日現在)
これまで	の取組み	• のぼりの掲揚
		• 電子掲示板への掲載
		シャトルバスにチラシを設置
		• 特定健診の結果通知に同封
令和元年	度の取組み	・事業リーフレットの刷新
		・地域協働協議会と連携
		・イベントや事業でちらしを配布
評価		目標値における達成度が6割程度まで伸びてきて
		おり、引き続き制度の周知啓発に努め、健康意識の
		高揚につなげる。

計画における分野別取組		3 生活習慣病の予防に関する取組
数値目標項目		各種健(検)受診率
目標値	現状値(基準日)	(1) がん(受診率)
		①胃がん 2.53%
		②肺がん 3.26%
		③大腸がん 4.88%
		④乳がん 4.57%
		⑤子宮がん 4.88%
		② 特定健診(①受診率・②保健指導実施率)
		① 38.5%
		2 25%
	目標値(最終年)	(1) がん(受診率)
		①胃がん 3%
		②肺がん 4%
		③大腸がん 6%
		④乳がん 6%
		⑤子宮がん 7%
		② 特定健診(①受診率・②保健指導実施率)
		① 56%
		2 55%
	設定根拠	平成29年度前後の検診実績を考慮して目標を設定
	進捗状況	受診率の更なる向上を目指すため、これまで主に保
		健福祉センターで検診を行う集団検診を実施して
		いたが、30 年度から各医療機関で検診を行う個別
		検診を積極的に導入している。

これまでの取組み	・平成30年度は乳がん検診の個別化を実施し、市
	民の利便性を図った。
	・特定健診とがん検診を同時実施することにより、
	受診者数の増加を図った。
	・教室や出前講座の中で検診の重要性について触
	れることにより、検診受診につなげた。
令和元年度の取組み	・市公式アプリ「もっと寝屋川」から集団検診を申
	し込めるようにした
	• 胃がん検診の個別化を実施した。
	・肺がん検診の出張検診を実施する。
	がんの正しい知識を市広報やHPで伝えること
	により、がんの早期発見・早期治療につなげる。
	・大阪府マイレージ事業を活用することで、検(健)
	診受診者の増加を図る。
評価	・微増ではあるが、受診者数の増加が図られてい
	る。
	・更なる受診者数獲得のため、あらゆる機会をとら
	まえて広報・周知を行う。
	・市アプリから検診予約を行えるようにすること
	で、若年者層及び働く世代の検診受診を促す。

計画における分野別取組		3 生活習慣病の予防に関する取組
数値目標項目		COPDの言葉も意味も知っている人の割合
目標値	現状値(基準日)	22.3%(平成 29 年度)
	目標値(最終年)	45%
	設定根拠	平成 29 年度における現状値の倍で設定
	進捗状況	不詳
これまで	の取組み	・禁煙外来を実施している医療機関での周知・啓発
		• 各種健康教室、保健指導及び出前講座の開催
令和元年	度の取組み	• 喫煙の健康への影響について啓発する。
		・公共施及び民間事業者への受動喫煙対策を促進
		し、望まない受動喫煙を防止する。
評価		健康増進法及び大阪府条例により、本市においても
		同様の対策を実施するとともに、今後国・大阪府の
		動向を注視する。

計画における分野別取組		4 こころの健康に関する取組
数値目標項目		自殺死亡率
目標値	現状値(基準日)	15.89 人/10 万人(平成 28 年)
	目標値(最終年)	9人/10万人(令和4年)
	設定根拠	自殺総合対策大綱
	進捗状況	12.30 人/10 万人(平成 30 年)
これまで	の取組み	• ゲートキーパー養成研修の実施
		・こころの体温計の導入
		• 自殺対策庁内会議
		・自殺対策庁外ネットワーク会議
令和元年	度の取組み	• ゲートキーパー養成研修の実施
		・こころの体温計の導入
		• 自殺対策庁内会議
		・自殺対策庁外ネットワーク会議
評価		• ゲートキーパー養成研修を定着させることによ
		り、社会全体で支える仕組みを構築するとともに、
		自殺に対する知識の獲得が図られている。
		・自殺対策の情報共有が図られている。
		・こころの体温計については、毎年3万件程度のア
		クセスがある。